

第1号議案

2024 年度事業報告承認の件

2024 年度事業報告

1. 組織運営

(1) 2024 年度通常総会の開催

- 開催日 2024 年 8 月 5 日（月）
- 場 所 自治労プラザ
- 出席状況 会員総数 80（団体会員 58、個人会員 22）
出席会員 51（内・委任状による出席 32）
- 総会議長 元木 栄作（徳島市職員労働組合連合会）
- 議事録署名人 庄野 昌彦（個人会員）
藤岡 一雄（個人会員）
- 議 事 第 1 号議案 2023 年度事業報告承認の件
 - ① 2023 年度事業報告
 - ② 2023 年度決算報告
 - ③ 2023 年度監査報告

(2) 理事会の開催

①2023 年度第 4 回理事会

- 日 時 2024 年 7 月 18 日（木） 10 時～10 時 40 分
- 場 所 自治労プラザ
- 出席状況 理事総数 18 人中 10 人出席、監事総数 3 人中 3 人出席
- 議 事 第 1 号議案 事業報告及び決算・監査報告の承認について
第 2 号議案 2024 年度通常総会の開催について
第 3 号議案 2024 年度一般財団法人自治労会館の研究助成について

②2024 年度第 1 回理事会

- 日 時 2025 年 1 月 16 日（木） 13 時 30 分～14 時 20 分
- 場 所 自治労プラザ
- 出席状況 理事総数 18 人中 13 人出席、監事総数 3 人中 3 人出席
- 議 事 第 1 号議案 徳島自治 124 号の編集について

③2024 年度第 2 回理事会

- 日 時 2025 年 6 月 18 日（水） 13 時 27 分～14 時 24 分
- 場 所 自治労プラザ
- 出席状況 理事総数 18 人中 13 人出席、監事総数 3 人中 2 人出席
- 議 事
 - 第 1 号議案 2025 年度通常総会の開催について
 - 第 2 号議案 2025 年度事業計画について
 - 第 3 号議案 2025 年度収支予算書について
 - 第 4 号議案 2025 年度資金調達及び設備投資の見込みについて
 - 第 5 号議案 2025 年度事業の内容について
 - 第 6 号議案 理事及び監事の選任について
 - 第 7 号議案 2025 年度通常総会記念講演会について
 - 第 8 号議案 徳島自治 124 号の編集について
 - 第 9 号議案 2025 年度一般財団法人自治労会館の研究助成の申請について
 - 第 10 号議案 当面する日程について

(3) 事務局会議の開催

①第 1 回事務局会議

2024 年 11 月 11 日、2024 年度第 1 回事務局会議を開催し、2024 年度第 1 回理事会の開催、徳島自治の編集について協議しました。

②第 2 回事務局会議

2025 年 5 月 14 日、2024 年度第 2 回事務局会議を開催し、2025 年度通常総会の開催、2024 年度第 2 回理事会・第 3 回理事会の開催、一般財団法人自治労会館 2024 年度の研究費助成「徳島における地域公共交通確立の課題と対策」の進捗状況及び、2025 年度の研究助成のテーマ、徳島自治の編集について協議しました。

2. 地方自治に関する調査・研究の取り組み

(1) 徳島における地域公共交通確立の課題と対策

地域公共交通の存続・確立の課題は、全国的な喫緊の課題です。そして、その課題はそれぞれの地域毎に違いがあり、当然、大都市圏の東京や大阪と徳島では全く事情が違い、徳島県内でも公共交通インフラの有無など、自治体間で現状や課題に違いがあります。

また、徳島では人口減少が続いているうえに自家用車利用者が多く、公共交通利用者の減少による減便や路線の廃止なども問題となっています。さらに、運転手のなり手不足などもあり、地域公共交通は大きな転換期を迎えています。

そのような状況の中、地域の公共交通もないうえに、自動車を運転できない人などの通学・通院・買い物などの移動手段の確保は、その地域に人が暮らしている限り自治体として責務です。現在、県内にある公共交通（バス・JR・タクシーなど）を基本に、人がその地域で暮らし続けるための地域公共交通を、自治体がいかに作っていくかが求められていることから、

本研究では今後、自治体が地域公共交通を確立するうえで必要不可欠な施策を明らかにし、①速やかに取り組むべき課題、②中長期的な視点で取り組むべき課題について、自治体に具体的に提言することとしました。

なお、この調査は一般財団法人自治労会館から 2024 年度研究助成費を受けており、調査結果については、一般財団法人自治労会館に報告するとともに、講演会、パネルディスカッションの内容等について機関誌『徳島自治』123 号に掲載しました。

3. 公益法人制度改革への対応

(1) 政策・方針決定過程への女性の参画拡大

内閣府男女共同参画局の「女性版骨太の方針 2024」では、あらゆる分野における政策・方針決定過程に女性が参画する機会の確保を求めています。以前より、理事、監事の選任にあたり、女性の参画拡大に取り組むよう内閣府より通知があったことから、当研究所では、2019 年度に新たに女性理事 2 人が選任し、積極的に女性を理事に選任することに引き続き努力しています。

(2) 内部統制システムの運用状況の概要

会社法施行規則の改正で、「内部統制システムの運用状況の概要」を事業報告に追加することが適当であるとして、それに沿う改正がなされたことを受けて、公益法人についても同様に措置することとなりました。当研究所においても、業務の適正を確保するための体制を以下のとおり整備しました。

- ①理事および職員の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するため、理事および職員にコンプライアンスの遵守を図るとともに、理事会は重要事項を決定するとともに、理事の職務の執行を監督します。
- ②理事の職務執行は法令および定款に基づいて行われ、その職務執行に係る情報は理事会議事録に記録され、その記録については適切に保存および管理します。

4. 講演会等の開催・共催・参加

(1) 2024 年度通常総会シンポジウム

2024 年 8 月 5 日、自治労プラザでシンポジウム「どうする?!徳島の地域公共交通」を開きました。(公財) 地方自治総合研究所の其田茂樹研究員が基調講演「地域公共交通の課題と取り組み」を行い、国の最近の動きから、課題と国の取り組みに触れ、地域公共交通についての考えを述べました。その後、パネラーとして、徳島県生活環境部交通政策課の橋本貴弘課長、三好市企画財政部地方創生推進課の細田博樹課長、徳島バス株式会社運輸部の東孝行副部長、コーディネーター其田茂樹研究員によるパネルディスカッションを行いました。なお、このシンポジウムの内容については、機関誌『徳島自治』123 号に掲載しました。また、このシンポジウムについては、徳島新聞にも記事として掲載されました。

地域公共交通 在り方考える

徳島市でシンポ

人口減や労働者不足が深刻化する中でいかに地域の公共交通を構築するかを考えるシンポジウム（徳島地方自治研究所主催）が徳島市幸町の自治労プラザで開かれ、市町村職員ら約50人が参加した。

パネルディスカッションで、徳島バスの東孝行運輸部副部長は「運転者の確保は重要な課題」とした上で、「労働条件は厳しいのに所得が低い。年間所得の増額などに取り組む必要がある」と述べた。南小松島駅（小松島市）で列車との乗り換えがスムーズになるようダイヤを見直すなど、JR四国や自治体と連携した取り組みも紹介した。

三好市の細田博樹地方創生推進課長は、民間バス路線を再編してデマンド方式の乗り合いタクシーに切り替える市の計画を説明。県の橋本貴弘交通政策課長は「限られた人、もの、お金を組み合わせ、皆さんとともに進めたい」とした。其

田茂樹地方自治総合研究所
研究員による講演もあり、
公共交通を巡る全国の動向
や課題が紹介された。シン
ポジウムは5日にあった。
（木下真寿美）

(C)徳島新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

5. 出版事業

機関誌「徳島自治」の発行

① [122号] 2024年9月30日発行

- ・【巻頭言】 地方自治法の一部改正を一考する

公益社団法人徳島地方自治研究所 副理事長 住友 光弘

- ・自治体ニューリーダーからの提言

市民の皆様と一緒に創る「アナン新時代」の実現に向けて

阿南市長 岩佐 義弘

- ・女性活躍推進法に基づく男女の給与の差異の公表等の県内状況について

公益社団法人徳島地方自治研究所 主任研究員 山田 みゆき

- ・徳島県内の学校現場は今 ～現役教員からの警告～

徳島における学校現場の現状と課題について

徳島県教職員組合委員長 小原 伸二

中学校教員の現状 ～この国の学校の「新しいカタチ」～

徳島県教職員組合 吉成 正士

小学校教員の現状 ～果たして教員の超過勤務は是正されているのか～

- ・本の紹介

『実力も運のうち 能力主義は正義か?』マイケル・サンデル著

公益社団法人徳島地方自治研究所 理事 中野 輝行

- ・徳島の ちょっと 行きたい 見てみたい

「淡路街道をゆく（1）」

農業、保護司、元北島町教育次長、元自治労北島町職員労働組合委員長 小西 昌幸

〔配布先〕

・会員 587 部 ・購読 131 部 ・交換誌 50 部 ・贈呈 68 部
合計 836 部(1部400円)

②〔123号〕2025年2月20日発行

・【巻頭言】 地方自治の現状と課題

公益社団法人徳島地方自治研究所 理事長 山本 準（鳴門教育大学名誉教授）

・公益社団法人徳島地方自治研究所 2024 年度通常総会シンポジウム

急がれる地域公共交通の確立

基調講演

「地域公共交通の課題と取り組み」

公益財団法人地方自治総合研究所 研究員 其田 茂樹

パネルディスカッション

「どうする!!徳島の地域公共交通」

パネラー 徳島県生活環境部交通政策課 課長 橋本 貴弘

パネラー 三好市企画財政部地方創生推進課 課長 細田 博樹

パネラー 徳島バス株式会社運輸部 副部長 東 孝行

コーディネーター 公益財団法人地方自治総合研究所 研究員 其田 茂樹

・徳島最低賃金の決着

「市民が主役のまちづくり」を実現するために

連合徳島 副事務局長 南 礼子

・島根の地で交流・つなげる自治研活動を体感

公益社団法人徳島地方自治研究所 事務局員 鹿山 美穂

・教員をめざす学生への意識調査

公益社団法人徳島地方自治研究所

・徳島の ちょっと 行きたい 見てみたい

「淡路街道をゆく（2）」

農業、保護司、元北島町教育次長、元自治労北島町職員労働組合委員長 小西 昌幸

・公益社団法人徳島地方自治研究所 2024 年度通常総会報告

〔配布先〕

・会員 586 部 ・購読 130 部 ・交換誌 50 部 ・贈呈 67 部 合計 833 部(1部400円)

6. 事務局行動日誌

2024年 7月10日	監査
7月18日	2023年度第4回理事会
8月5日	2024年度通常総会
9月19日	農政クラブ50周年記念講演会
9月24日	2023年度事業報告提出
9月27日	自治労徳島県本部第103回定期大会
9月30日	徳島自治122号発行(900部)
10月4日	第40回地方自治研究全国集会（しまね自治研）
～5日	
11月11日	2024年度第1回事務局会議
12月4日	自治総研所長との意見交換会
12月6日	教員をめざす学生への意識調査に関する県教組との座談会
12月18日	農政クラブ常任理事会・役員会
2025年 1月11日	自治労徳島県本部旗開き
1月16日	2024年度第1回理事会
1月28日	2025年部落解放同盟徳島県連合会新年旗開き・徳島水平社100周年記念祝賀会
2月18日	農政クラブ2月定例会
2月20日	徳島自治123号発行(900部)
3月14日	令和6年度公益法人会計研修会（Zoom）
3月24日	自治総研・自治研センターとの意見交換会（Zoom）
4月8日	農政クラブ役員会
4月21日	農政クラブ令和7年度通常総会
5月14日	2024年度第2回事務局会議
5月19日	農政クラブ5月定例会
5月30日	小西昌幸さんへ総会講師と理事就任依頼
6月3日	自治総研「交流プラットフォーム」説明会（Zoom）
6月10日	地域公共交通関係者との協議
6月18日	2024年度第2回理事会
6月27日	2025年度事業計画提出

農政クラブ定例会の出席状況〔中野輝行理事・2025年4月より徳永佳紀常務理事〕

開催月日	テーマ	講師
2024年9月19日	環境と調和のとれた農業への帰還	（一社）全国農業改良普及支援協会 会長 岩元 明久 氏
2025年2月18日	『地球支援型農業』とは	（一社）とくしまCSA風土 代表理事 金村 真友子 氏
2025年5月19日	樵木林業の日本農業遺産認定について	徳島県木材協同組合連合会 専務理事 綱田 克明 氏

7. 2024 年度会員の状況

(1) 正 会 員 80 (団体 58、個人 22)

(2) 賛助会員 0